

トップニュース：ROBA提案の全国都市再生モデル調査が採択！！

内閣官房都市再生本部が募集していた「全国都市再生モデル調査」に、ROBAが応募していた「えちぜん鉄道を核とした公共交通の活性化によるまちづくり調査」が9月22日に採択されました。公共交通をテーマとした、RACDA、金沢市、富山市などととも、644件の応募のうちから選定された提案171件に入ることができました。

その内容は、まず、まちづくりNPOなどの協力を得て、マップDEのりつぎ調査隊により、公共交通の乗り継ぎの実態を調査する。生活交通ビジョンの実現に向けて、理解しやすく判断しやすい交通施策イメージを作成し、利用者の立場から公共交通政策の提案を行う。さらに、提案をもとにパネルセッションや地域キャラバン等により、まちづくりグループなどとの意見交換を行い、将来像をまとめる。これによって、県市の住民の理解促進、合意形成が進められ、まちづくりにあわせて地域公共交通が効率的に再構成され、都市再生が進められると考えています。

これまで以上に市民活動への期待は高まっています。皆さん、がんばって、かつ楽しみながら調査していきましょう。詳細は順次お知らせしますが、11月24日のこのシンポジウムもその一環としてやっていますので、皆さんまずはシンポジウムの参加から。
(文/林 博)

活動報告

- 10月25日 のりつぎ調査隊ワークショップ
- 10月25日 秋色の街めぐりまとめ(風流塾共同)
- 11月1日 ワークショップまとめ作業部会
- 11月1日 ROBA勉強会(川上先生)
- 11月4・7・10・11・17・18・23日
シンポジウム作業部会
- 11月13日 第14回まちづくり懇談会
- 11月18日 11月作業部会
- 11月22日 中部地区路面電車サミット(高岡)参加
- 11月23日 勝山・鉄道まちづくりシンポジウム参加
- 11月23日 ROBA 進歩ジウム前夜祭レセプション
- 11月24日 まちづくり進歩ジウム『つないで生きる
電車・バス』～「のりのりマップ」から見えてく
る福井の公共交通とまちづくり～開催

今後の予定

- 11月28日(金) 11月例会
- 12月4日(木) 第15回まちづくり懇談会
- 12月16日(火) 12月作業部会
- 12月26日(金) 12月例会
- 12月 随時 全国都市再生モデル調査打合せ

ゆうじんの部屋 書籍紹介

路面電車ルネッサンス

宇都宮浄人 著

新潮新書(新潮社) 680円+税

これまでいろいろな書評を書いてきた。世界の路面電車の動向、経済性、街づくり、信用乗車そうしたいろいろな問題をこのコンパクトで安価な本に集約したのは画期的と言えよう。

著者は日銀職員であり、経済には詳しいと思われるが、広い範囲にわたって路面電車のことを調べており、かつこの種の本の中では非常に理解しやすい。出張の飛行機の1時間で一気に読むことができた。

(文・美濃部)

のりつぎ調査隊ワークショップ!!

日時: 10月25日(土) 13:00 ~ 17:00

場所: えきまえKOOCA(旧生活創庫) 1F市民ギャラリー

まちづくり進歩ジウム!の一環として、「のりつぎ調査隊ワークショップ」を開催しました。当日は26人が参加しました。(福井市が開催した“まちづくりフェア”会場の一部を借りました)

< のりつぎ調査隊 >

のりのりマップを手に、目的地までの公共交通(バス・電車)をのりつぎ体験をしてもらいました。片道1回以上電車やバスをのりつぎ、のりつぎ体験で感じた事を調査シートにまとめました。

のりつぎ調査隊としては14チーム54人がのりつぎ調査を行いました。晴れた日のチームもあれば雨の日のチームや、のりつぎが悪くて急きょ目的地を変更したチームもあって、おもしろい調査になりました。



< のりつぎワークショップ >

このワークショップはのりつぎ調査を行ってくれたチームの中から、参加できる人を対象にワークショップを行いました。結果報告を大きな模造紙にまとめ、更へのりつぎ調査の結果として全体の意見をまとめる作業を行いました。5チーム14人が参加し、2班に分かれて作業を行いました。

まずは各調査隊によるのりつぎ結果をチーム毎にまとめて、のりつぎはどうだったか・目的地ではどのように過ごしたかを発表しました。ある2チームは、偶然にも調査日も行き先も出発時間・帰宅時間も同じで、途中の過ごし方だけが違ったよ!というチームがありました。また、のりつぎ時間が長いから自転車で移動した・歩いた・ひたすら待ったというチームがあったり、目的地によってはのりつぎがよく、待ち時間5分のチームもありました。

のりつぎ時間を利用して周辺の散策をしたり、のんびり過ごしたり、各チームとも思い思いの過ごし方をしたようです。これは先月の“秋色のまちめぐり”イベントでも感じたことですが、まち時間があるから文句も言うのではなく、本を読んだり・お菓子を食ったり、その人が好きなように自分の時間を過ごしていました。

ワークショップでは、のりつぎ調査をしてくれたチームをバラバラにし、2つのチームに班を分け直し、良い点・改善する点・アイデアの3つに対する意見を出し合いました。現代の子供の考えやなるほど!と思う意見がたくさんでできましたヨ。

車で移動し毎日を忙しく過ごしている私たちには、本当にボーっとする時間がないように思います。常に頭で何かを考えていて、考えないでいいのは寝ている時だけ!では頭と心を休めることはできないのでしょうか。きつと。(文 はた)



のりつぎ調査結果のまとめ



のりつぎ調査結果の結果報告



2班に分かれて作業中

みんなで集合写真

電車通り工事中とパネル展示

高橋 八州太郎

電車通りの工事がいよいよ始まった。車の通行はできるものの、路上駐車はできない状態だ。この日は西武前からガレリアもとまちまでの、工事をしていない道路を利用して、よさこいが開催されていた。パネル展示は梅田農園から西武までの工事区間を利用して展示をした。

また、“まちづくりフェア”が開催中で、フェアのイベント“まちづくりウォーク”も行われており、一般の方が市の担当者の引率のもと、説明を聞ける良い機会である。

ROBAの会のメンバーは、前日のワークショップについて、路面電車のパネルを引っさげて皆さんに『環境にやさしい路面電車、未来の時代にマッチした路面電車』などと声高に叫んでいる（心の中で）。

10月26日（日）の午前10時より午後5時まで、駅前通りで、いつもの「ROBA」パネルを立て掛けて、皆さんにアピールしている。当日は少し風があり心持ち寒く感じた。隣では「よさこい」踊りが披露され、さながら秋祭りのようです。

私達は駅前通りの「五十嵐ビル」前に占拠して工事中の“うま”にパネルを立て掛けて皆が見やすいように工夫して張り出した。

清水事務局長が「LRTの定義」と称する『パネル』を一部作成、展示品として1品追加をした。展示パネルが増えた。

さて、肝心のパネル展示は「よさこい」の方に見とれてしまい、なかなかパネルの方にはむいてくれず少し、苦戦した。

しかし、そんななか、年配の方々が熱心に見ていただいた。また親子連れも子供に引っ張られて見入っている様子がわかる。

地味な活動であるが、「チリも積もれば山となる」との格言とおり、持続をして行きたいと思う。（以下、私の耳に聞こえてきたことば。・・・本当？.....そう信じたい）



お父さん、これLRT？

私達、乗れるかしら？

早くLRTを通してくれ
(線路からのことば)

LRTはいつ走るのかな～？

「よさこい」の方がいいな！

第一回全国バスマップサミット 参加報告 11/8 (林 博)

岡山で行われた第1回・全国バスマップサミットに参加し、MOMOに乗ってきました。

これまでバスマップを作成してきた4団体が事例発表を行いました。主催したRACDA（路面電車と都市の未来を考える会）と松江まちかど研究室の田中さん、安部さん（学生）それと広島LRT研究会の山根さん、ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBAの会）の私です。

ほかにも、急ぎょ休憩に入る前の時間を利用して、参加団体・個人からの簡単な報告が行われました。お話ししたのは、おなじみの岐阜未来団の堀達哉さん、仙台の山中隆行さん、千葉の渋谷秀行さん、名古屋の伊藤浩之さんです。

パネルディスカッションの内容は、昼ごはんを食から決めたのですが、参加者は基本的に公共交通のさを理解している人たちばかりで、マップなどを作っている人たちに参加してもらおうきっかけのように、苦労話をとおして、市民活動として何ができたかを考えてもらおうということになりました。

作戦は大成功で、会が終わっても、やりたい人た情報交換がいたるところで続いて、後片付けができぐらいでした。

市民活動が行うサミット、シンポジウムはこんなやるべきで、結論を出すことより継続的な活動を生ずきっかけを、いかに仕掛けるかということなんだろうなと思いました。



べな
重要
りた
なる
きる

ちの
ない

風に
み出



前日の夜は歓迎のための勉強会とMOMOのビール電車。

原田昇先生の大学での講義の再現と、鈴木文彦さんのバスのスライドにより交通計画の基礎をみっちり叩き込まれてからMOMOを借り切ったの歓迎レセプション。話声も聞こえるぐらいに静かで、立ちながらもあまり揺れず、ちょっと腰掛けるところもあり、座席の横には缶ビール置きまで付いているという心配り。MOMOはこのために設計されたようなもので、うれしいですね。

その他のマップ作成者
これで全部だ大学への
直通バス（仙台の山中隆行



さん)

<http://homepage3.nifty.com/oogizaka/>

東京圏のバス路線図「Bus Service Map」

(千葉の渋谷秀行さん)

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Ocean/5778/>

路線ドットコム (名古屋の伊藤浩之さん)

<http://www.rosenzu.com/>

路面電車とバスをつかっておでかけしませんか? (堀 達哉さん) ROBAのブースの様子

参加者の感想

RACDA 事務局 佐野 浩さん

皆様のご協力によって、たいへん良いサミットになったのではないが、きわめて多忙でハードだったこの一月ほどをふりかえりつつ、いま心よりの充足感を味わっています。しかし、このサミットは最初の一步です。苦労した甲斐があった。何かが変わりそうな予感がします。

広島LRT研究会 山根政則さん

バスマップ実現団体はいろいろ脆弱性をもった団体です。今後のために、他の経験を活かすこともさることながら、マップ制作で他の参考になることはどんどん取り入れてよいマップにそれぞれ改善していきましょう。制作手法、表現方法、資金獲得方法その他なんでも。「オリジナルはその作者に属するが、アイデアが他で利用されることはそのアイデアが評価された証明である。嬉しい。」というのがアマチュア製作者どうしの場合の制作意見です。実はこの言い方は自作ホームページ「路面電車を考える館」について利用したいメールを頂いたときの私の常用ジャックなのです。「情報使用はフリー」を宣言しています。みなさんお元気で。またお会いしましょう。

第一回 全国バスマップサミット 宣言書

平成 15 年 11 月 8 日

岡山県総合福祉会館

《第一回 全国バスマップサミット 宣言》

路線バス、路面電車など市民生活の足となる公共交通の復権を果たすことを目標に、バスマップの制作をはじめとする手づくりの市民活動をすすめる私たちは、MOMOの走る岡山の地に集い、「市民がつくり支える公共交通の未来」について熱い討論を重ねた。その結果を次の通り宣言する。

- 一、 利用者の、利用者による利用者のためのバスマップづくりを全国に呼びかけ、交通市民運動の輪を広げる。
- 二、 継続は力なり。岡山で産声を上げたバスマップサミットの継続に労を惜しまず協働し、交通市民運動拡大のための活動を粘り強く推進する。
- 三、 バスマップの表記・表現方法に工夫を凝らし、意見交換しながら、全国・世界の誰もが分かりやすく使いやすいバスマップづくりをめざす。
- 四、 過度に自動車に依存したわが国の交通を改善し利用者本位の交通システムをつくるため、行政、事業者、大学、専門機関等と協力し、市民（利用者）主体の調査研究活動に積極的に取り組む。
- 五、 次回全国バスマップサミットの開催を平成 16 年、福井とする。

平成 15 年 11 月 8 日

バスマップサミット実行委員会

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBAの会）

広島LRT研究会

岐阜未来研究団

松江まちかど研究室

RACDA（路面電車と都市の未来を考える会）

岐阜市のトランジットモール交通社会実験を見てきました

高間 光夫

岐阜市で「総合型交通社会実験」が次のような内容で行われていました。

- ・ バス優先レーン交通社会実験（10月14日～11月28日：平日7:00～8:30）
- ・ 路面電車交通社会実験（10月27日～11月28日：終日）
- ・ レンタサイクル社会実験（10月20日～11月3日：9:00～19:00）
- ・ トランジットモール交通社会実験（11月1日～3日：10:00～17:00）
- ・ まちなか歩きゾーン実験（10月27日～11月28日：終日）

そこで、私はトランジットモール交通社会実験が始まった11月1日に岐阜市へ行ってきました。「ぎふ・にぎわい・まち歩きモール」と銘打って、路面電車区間とバス区間に分けて実施していました。

岐阜駅から歩いておよそ10分、長良橋通りを進むと路面電車のトランジットモール区間、さらに進むとバストランジットモール区間です。



入口には交通整理員とバリケードで一般車両の制限をしていました。

また、福井市の社会実験でも課題になった軌道部分と歩行空間は、カラーコーンとプランターで分離していました。

さて、実験区間は、有名な柳ヶ瀬商店街に隣接している比較的広い通りです。

初日だったせいか人通りは少ないようでしたが、隣の柳ヶ瀬商店街の中は賑わっていました。

また、歩道が広いせいか車道を歩く人は余り見られませんでした。



路面電車区間

バス区間

岐阜市では、公共交通が便利で使いやすく、歩行者・自転車を重視し、車との適切な組合せと役割分担がされた交通体系を考えるため、期間中様々な社会実験を行ったようです。

これらの結果がどのようにまとめられるのが注目したいと思います。

なお、実験の概要（パンフレット）は、次のホームページを参考にしてください。

<http://www.city.gifu.gifu.jp/koutsuu/sougouksj/syakaij.html>

第14回まちづくり懇談会の報告

日時 11月13日(木) 19:00~21:00

場所 まちづくり福井㈱ 2F 会議室

参加者

ROBA/高橋、佐藤、川口、内田 **学生**/藤重、山田、国島(県立大学)
古木(福井工大)、吉川(福大) **まちなかNPO**/村北、今川、古市、杉
田 **その他**/四ツ井、浅井(まちづくり福井㈱)橋本(福井市観光協会)、
細田(NHK)

内容

ガレリアポケットの活用方法

まちなかNPOの学生グループとROBAの会大学生グループが、
ガレリアポケットの活用から中心市街地の活性化を図ろうと具体的
な提案がありました。

具体的には、

- ・スポーツバー、ライブ、フードフェスタ、映画上映、ウェディ
ング、ファッションショー、BMXの大会、五大学合同大学祭 etc
- ・とりあえず、本年12月24日に以下の企画を実施する

“ホワイトクリスマス in ガレリアポケット”

- ～クリスマス・イブをホワイトクリスマスにする～
ガレリアポケットに雪を運び雪でコーディネート
ロマンティックなデートスポットを造り出す
ボランティアで学生中心に雪を運ぶ
当日のクリスマスツリー等商店街の企画と連携
告知方法に工夫を凝らし、ワクワク感を持たせる

福井鉄道市役所前駅の乗降利用者の調査報告(まちなかNPO)

2002年実施の調査と比べて、大きな変化はなかった

福井まちなか文化施設(仮称)について

- ・35ミリ映画の映写装置はなくプロジェクター方式で可能であ
るため、設置をしてはいかがか。
- ・利用者は200名以上であり、一定の集客に伴う商店街の活性化
を期待する。
- ・まちづくりの観点で、地域の行事、文化交流の場の提供
- ・平成16年春オープン

次回開催

日時：12月4日(木) 19:00~21:00 場所：駅前商店街会議室

内容：・ホワイトクリスマス in ガレリアポケットの企画

- ・来年の当会の計画

作...漆崎耕次

(文・内田)

(文・内田)

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL : 0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : homepage2.nifty.com/tram-fukui

編集後記.....編集委員一同(林照・清水・川口・内田)

今回は超豪華特別号で8ページとなりました。皆さんじっ
くり読んでくださいね